

網膜走査型レーザアイウェア新製品「RETISSA Display II」を CEATEC2019 で展示

株式会社 QD レーザは、10月15日(火)～10月18日(金)に幕張メッセで開催される、日本最大級の規模を誇る IT 技術とエレクトロニクスの国際展示会 CEATEC2019 へ出展します。

【展示詳細】

場所：ホール7 小間番号 C051

日時：2019年10月15日(火)～18日(金) 各日 10:00～17:00

会場：幕張メッセ

住所：千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目1

<https://www.ceatec.com/ja/access/access01.html>

入場：全来場者登録入場制(無料)

※入場にはオンラインでの登録が必要です。詳しくは CETAEC サイトの登録ページを御覧ください

https://reg.jesa.or.jp/?act=Form&event_id=9&quantity%5B5%5D=1&func=Payment

【展示内容】

今回は、昨年リリースされた網膜走査型レーザアイウェア『RETISSA Display』の後継機種となる『RETISSA Display II』の実機・デモ体験、応用コンセプトを展示し、併せて、先のご注文受付のご案内をいたします。

【ユースケースとアクセサリ】

RETISSA Display II はウェアラブルディスプレイとして様々な用途に利用可能です。そのユースケースを拡張するため、『見える』『聞こえる』『楽しむ』を増やす、をコンセプトとして本機器と組み合わせて用いるアクセサリを開発しています。

これらのアクセサリユニットは開発中であり発売時期は未定ですが、RETISSA Display II のユースケースをより具体的にイメージしていただくため、CEATEC2019 では下記のアクセサリユニットの試作品・機能コンセプトを展示いたします。

なお、RETISSA Display II では、映像入力ポートの他、外部機器用の電源供給ポートを実装しており、アクセサリユニットはこれらのポートに接続して活用するものです。

【アクセサリユニットのイメージ】

- カメラユニット



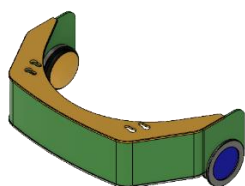
フレームに取り付けた小型カメラの映像を取り込むことにより、視力やピント位置によらず、眼前の風景を見ることができます。

- タッチパッド式画像拡大ユニット



HDMI 入力された画像を拡大表示します。タッチパッドでのタップやスワイプ動作で、拡大率の変更や拡大領域の移動ができます。

- 動画視聴ユニット



没入型のフレームにヘッドホンを一体化し、映像視聴に特化した形とし、動画などのコンテンツを楽しむユースケースに即した物となっています。

上記のほか、音声認識などのプロトタイプの検討・開発を進めています。